

日本比較薬理・毒性学会総会会議録（案）

日時：2007年9月6日（火）10：50-11：20

場所：酪農学園大学

出席：（帯広大薬理）石井利明、（帯広大大動物特殊疾病センター）佐藤栄輝、（北大薬理）伊藤茂男、太田利男、乙黒兼一、（北大毒性）藤田正一、石塚真由美、坂本健太郎、（酪農大薬理）北澤多喜雄、（酪農大毒性）寺岡宏樹、（北里大）天間恭介、（岩手大薬理）古濱和久、（東京大薬理）尾崎博、村田幸久、（東京農工大）佐々木一昭、（麻布大薬理）白井明志、折戸謙介、（日獣大薬理）清水一政、金田剛治、（大阪府大薬理）竹内正吉、中嶋秀満、（大阪府大毒性）松尾三郎、清宮健一、中川博、（鳥取大）佐藤宏、（山口大薬理）佐藤晃一、（宮崎大薬理）伊藤勝昭、池田正浩、（鹿児島大）白石光也。 以上29名（敬称略）

1. 岩手大学獣医学科薬理学教室の小林晴男教授の後任として、古濱和久先生が紹介された。
2. 国公立獣医科大学協議会の内容について北大・伊藤同協会会長・分科会長より報告された。：教育改革アンケート結果の紹介、外部評価のあり方等。
3. 私立獣医科大学協議会の内容について日獣大 清水教授より報告された。：第4次総合評価報告書について、第5次総合評価報告書作成委員会の設置（臨床教育）。
4. 全国大学獣医学関係代表者協議会の内容について東大・尾崎 国公立獣医科大学協議会副会長より報告された。：話題：分野別評価の必要性）。
5. 分科会会長会議が初めて開催され、今後も継続されることが北大・伊藤分科会長から報告された。：各賞の推薦依頼について。
6. 毒性学教科書のアンケート調査結果の中間報告について東大 尾崎先生より報告された。：今後小委員会でとり進める。国家試験での出題数に拘わらずきちんとした内容のある教科書を作ってほしいという意見があった。
7. 評議員の推薦依頼について北大・伊藤分科会長より説明された。
8. 来年度春の獣医学会における分科会企画について麻布大・白井先生より報告された（別紙参照）。

以上

第 145 回日本獣医学会学術集会 比較薬理学・毒性学分科会企画

1. 企画シンポジウム

「分子・細胞・組織レベルにおける毒性発現機構の解明」

所要時間：3 時間程度

2. 教育講演

「トキシコゲノミクス (Percellome Project) を基盤とした分子毒性学の展開の試み」

菅野 純 先生 (国立医薬品食品衛生研究所・安全性生物試験研究センター・毒性部)

所要時間：1 時間～1 時間 30 分程度

3. ポスター発表

- ・ 「生理活性物質・薬物・毒物の作用発現機構」
- ・ 「病態発現に関わる情報伝達分子」
- ・ 「動物行動を指標にした薬理学・毒性学研究」
- ・ 「神経機能に関する薬理学・毒性学研究」
- ・ 「薬物・毒物の体内動態」